

麻疹・風疹について

神垣 太郎

国立感染症研究所感染症疫学センター

麻疹(ましん)について

- 麻しんウイルスによる急性ウイルス感染症
- 非常に強い感染力（基本再生産数：9-15）
- 空気感染、飛沫感染、接触感染など多彩な伝播経路

麻疹の症状

潜伏期（感染してから発症するまでの期間）：10-12日

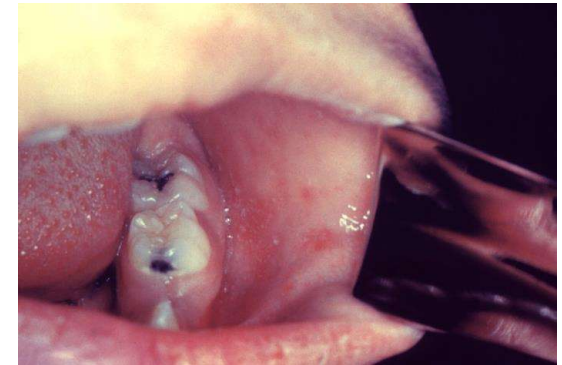
7-10日で症状は軽快する

カタル期 発疹期



- ① 38度以上の発熱、咳・鼻水などの上気道炎症状
- ② 結膜炎（充血、目やに）
- ③ コプリック斑
- ④ 発疹：耳の後ろ、頸部や前額部から始まり、四肢末端まで広がる（浮腫性紅斑）。黒ずんだ色素沈着となり、約1か月で消退する

コプリック斑



©公益社団法人日本皮膚科学会

発疹



©公益社団法人日本皮膚科学会

Center for Surveillance, Immunization, and Epidemiologic Research

麻疹の症状(合併症)

約30%に何らかの合併症がみられる

- **肺炎**：麻疹ウイルスによるウイルス性肺炎や細菌の二次感染による細菌性肺炎が含まれる
- **中耳炎**などの細菌感染症：麻疹患者の5-15%にみられる
- **脳炎**：1000例に0.5～1例だが死亡につながる重篤な合併症
- **クループ**：喉頭炎や喉頭気管支炎による呼吸困難
- **亜急性硬化性全脳炎 (SSPE)**：罹患後7-10年で発症（記憶力の低下、学校の成績低下、落ち着きがない、無関心になるなど）することがある中枢神経疾患。麻疹患者の数万から10万人に1例。5-14歳頃が好発年齢

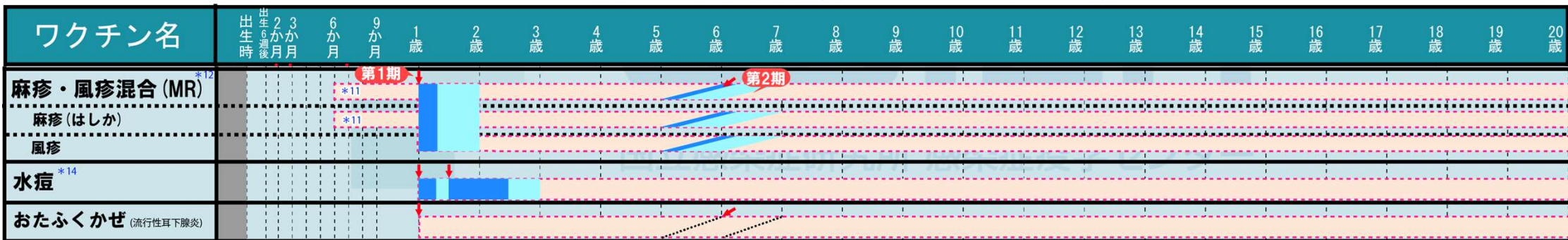
麻疹風疹ワクチン

- 風疹ワクチンが混合された乾燥弱毒生麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）
 - 弱毒生ワクチン：生きたウイルスの病原性を弱めたワクチン。強い抗原性を有する

※接種期間は添付文書の内容を参考に作成しました（一部改変）

日本の定期／任意予防接種スケジュール（0～20歳）

2024年04月01日現在



麻疹風疹ワクチン

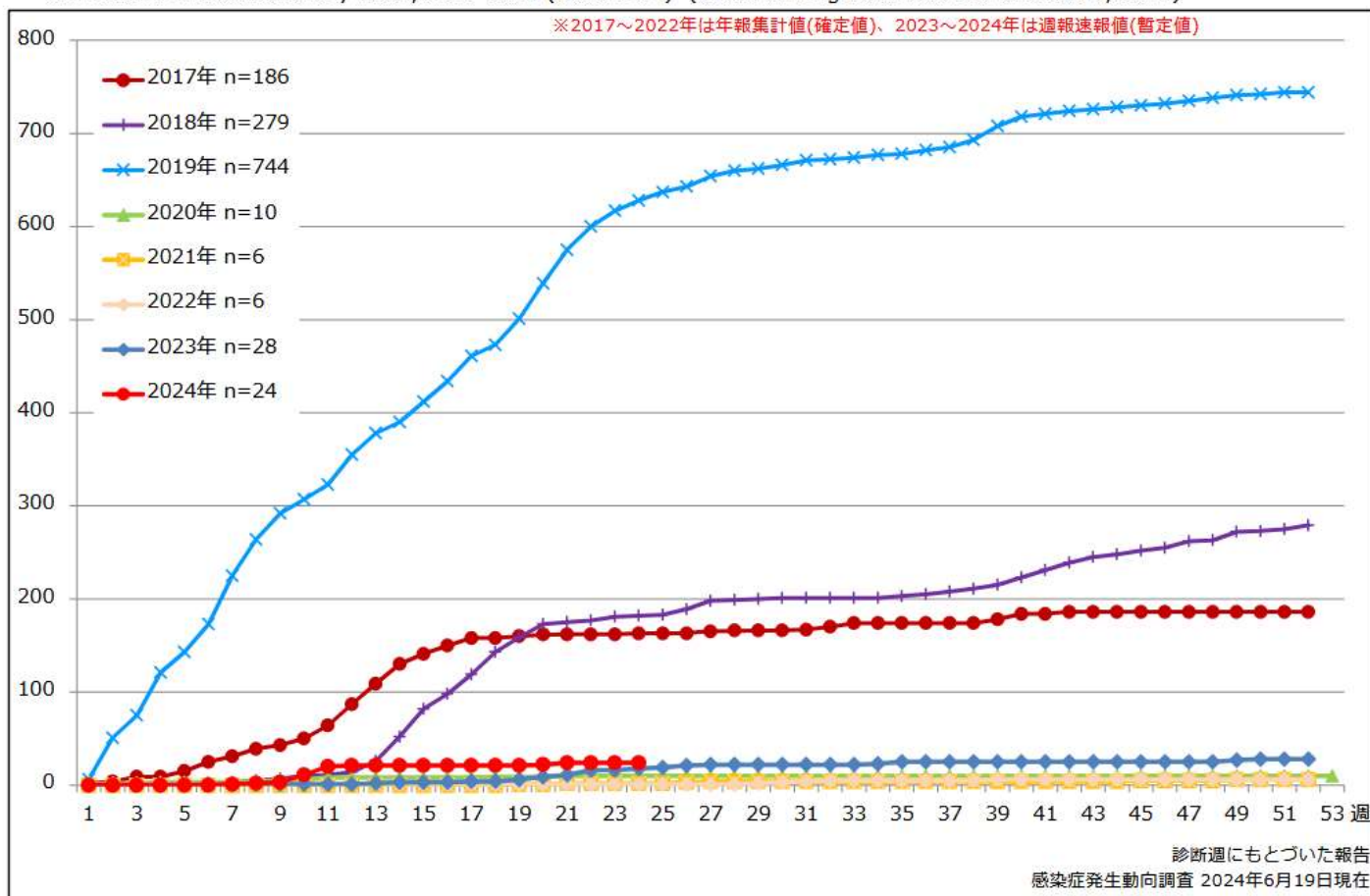
- ワクチン接種の意義の1つは、生体が抗原に予め曝露することにより、病原体に感染した際の素早い免疫応答をもたらすこと（二次免疫応答）
- ワクチン接種によって期待される免疫誘導がもたらされない状況を**ワクチン不全**という
 - 1次ワクチン不全：ワクチン接種後に有効な免疫誘導が得られない
 - 2次ワクチン不全：ワクチン接種後の免疫の減衰
- **修飾麻疹**：麻疹に対する不完全な免疫を持っているヒトが感染して発症する軽度の不全型麻疹

麻しんの疫学とサーベイランス

- 2015年3月に世界保健機関（WHO）によって日本は麻しんが国内から排除されたと認定
 - 日本を含む西太平洋地域では8カ国が排除認定を受けている
- 感染症法では5類感染症に位置づけられ、**全数がただちに報告**される全数把握疾患である
 - 届出に必要な臨床症状（**発疹、発熱、咳・鼻水・結膜炎**などのカタル*様症状）
 - 上記3つすべて（臨床診断例） + 検査による診断（検査診断例）
 - 修飾麻しんは上記3つのどれか + 検査による診断（検査診断例）

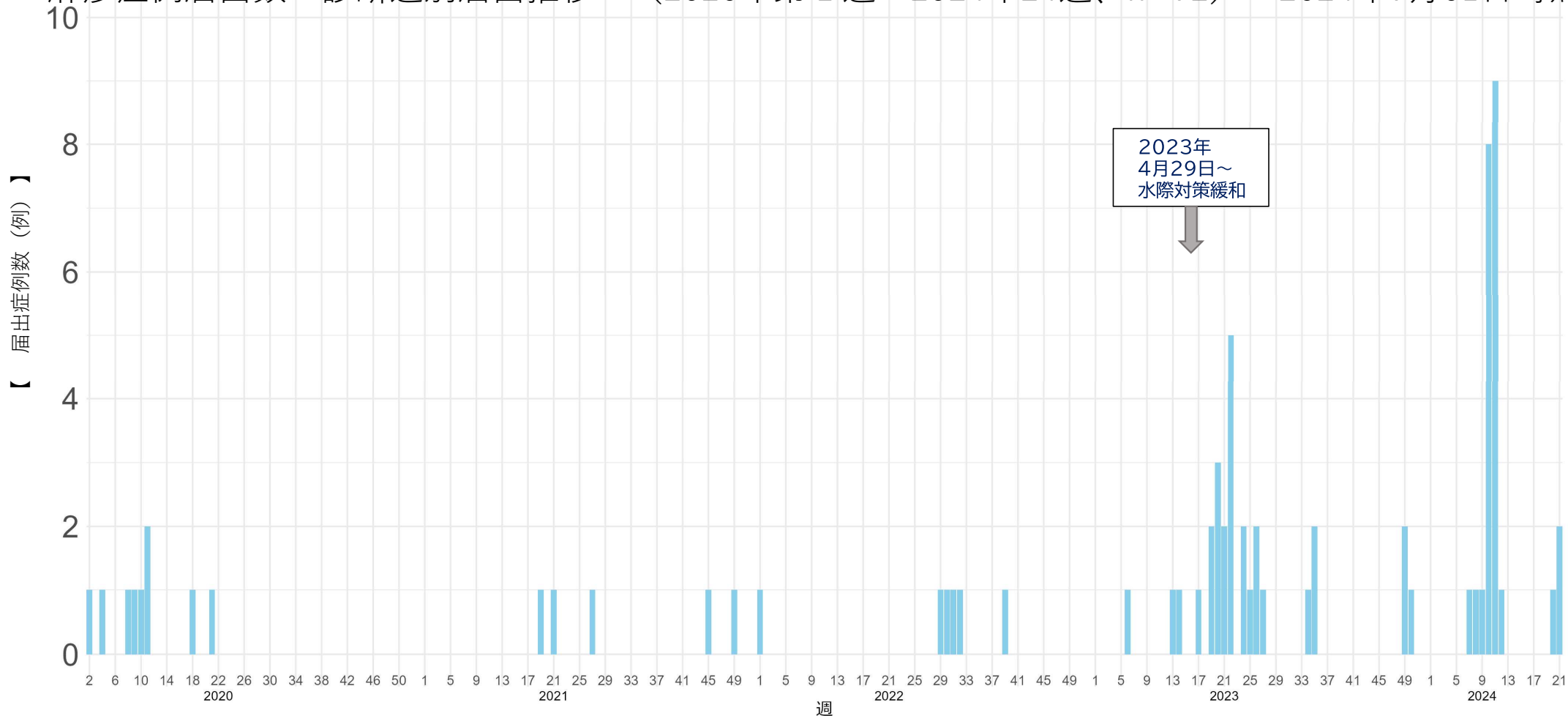
麻疹累積報告数の推移 2017～2024年（第1～24週）

Cumulative measles cases by week, 2017-2024 (week 1-24) (based on diagnosed week as of June 19, 2024)



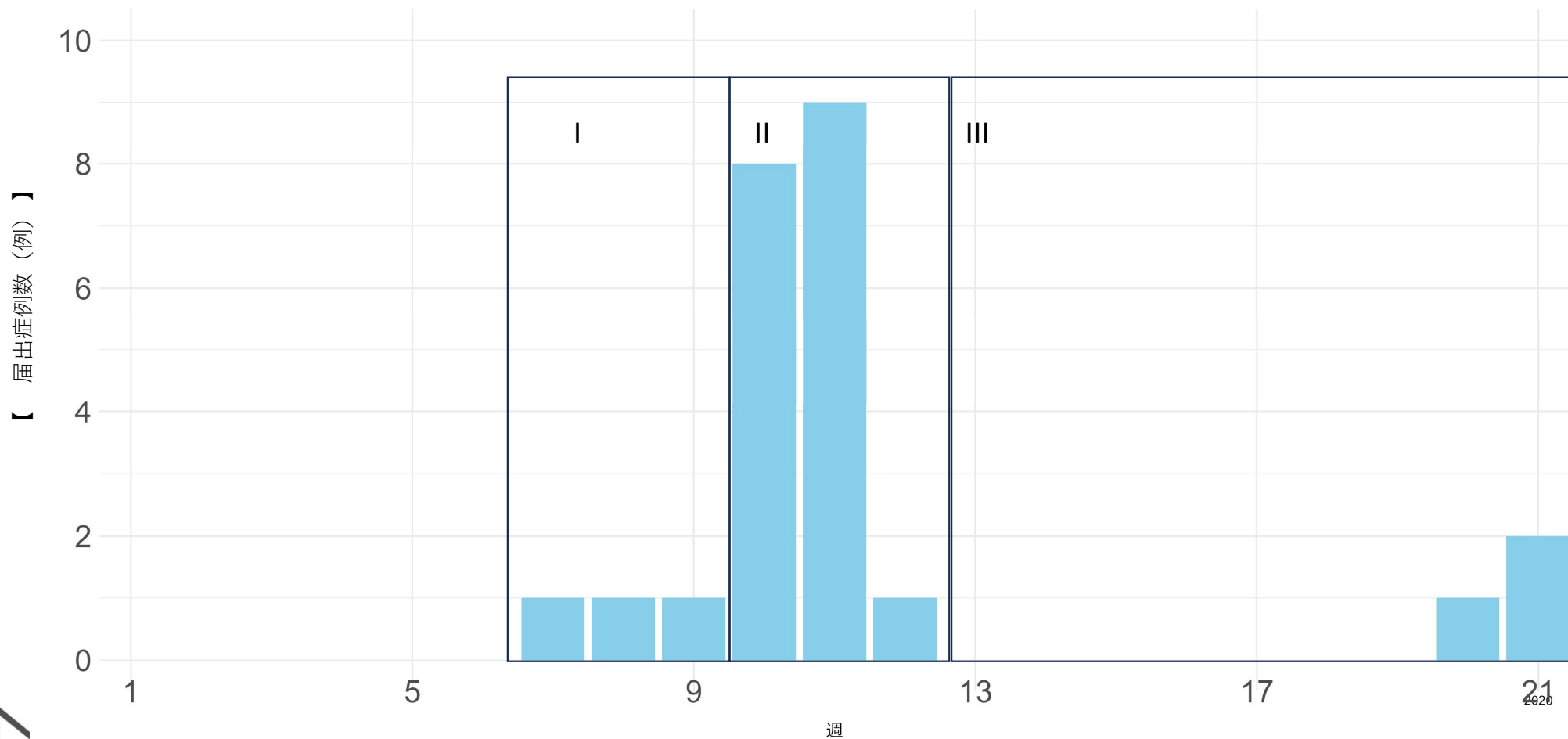
麻疹：2024年6月中旬までの国内の麻疹患者の特徴

麻疹症例届出数の診断週別届出推移 (2020年第1週～2024年24週、n=72) 2024年7月01日時点



麻疹:2024年6月中旬までの国内の麻疹患者の特徴

麻疹症例届出数の診断週別届出推移 (2024年第1週~2024年24週、n=24) 2024年7月01日時点

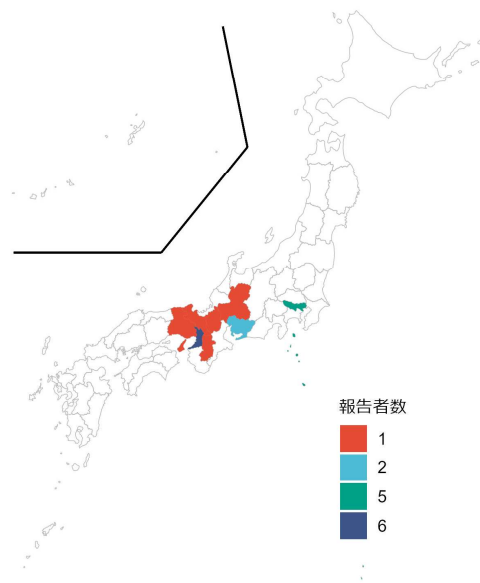


麻疹: 2024年6月中旬までの国内の麻疹患者の地理的分布

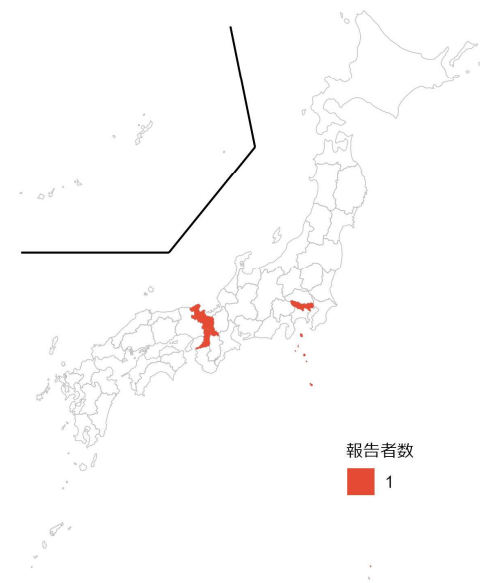
麻疹症例届出数の診断週別届出推移 (2024年第1週～2024年24週、n=24) 2024年7月01日時点



I: 2024年第1週から第9週まで



II: 2024年第10週から第13週まで



III: 2024年第14週から第24週まで

麻疹患者の探知、行動歴調査からの情報提供による対策

 **大阪府** Osaka Prefectural Government

防災・緊急情報 | 分類から探す | 目的から探す | 組織から探す | キーワードから探す

トップページ > 報道発表資料検索 > 麻しんに関する注意情報

印刷 ページID: 47188

麻しんに関する注意情報

2月24日にエティハド航空、関西空港、南海電鉄、TRIAL（スーパー）を利用した方へ

 **京都市情報館** Kyoto City Official Website

市役所へのアクセス | 組織一覧 | Google 提供 | サイト内検索

トップページ | 暮らしの情報 | 観光・文化・産業 | 子育て・教育 | **健康・福祉** | まちづくり | 市政情報

現在位置: トップページ > 健康・福祉 > 医療 > 報道発表資料・お知らせ > 京都市内で麻しん（はしか）が発生しました

京都市内で麻しん（はしか）が発生しました

ページ番号323904 2024年3月13日

令和6年3月12日火曜日、京都市内の医療機関から麻しん患者の届出があり、本市衛生環境研究所で検査を実施したところ、同日、麻しんと確定されました。

当該患者が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間内の3月6日水曜日に、不特定多数の方が利用する公共交通機関を利用したことが判明したため、広く注意喚起するものです。

なお、当該患者は、令和6年3月1日金曜日に大阪府と東大阪市において報道発表を行った麻しん患者と関西国際空港で接触した可能性のある方です。



<https://www.pref.osaka.lg.jp/>
<https://www.city.kyoto.lg.jp/>
<https://www.city.nagoya.jp/>
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/>

 **東京都** TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

音声読み上げ | 文字サイズ・色合い変更 | Language

サイトマップ | Google カスタム検索 | 検索 | 検索ページ

トップ | 暮らし・健康・福祉 | 教育・文化・スポーツ | 産業・仕事 | 環境・都市基盤 | 都政情報

トップページ > 都政情報 > 報道発表 > これまでの報道発表 > 報道発表/令和6年（2024年） > 3月 > 麻しん（はしか）患者の発生

報道発表資料 2024年03月11日 保健医療局

麻しん（はしか）患者の発生について

令和6年3月8日（金曜日）、都内で麻しん患者（検査診断例）の発生がありました。当該患者は現在入院中です。保健所において疫学調査を実施し、接触者の健康観察を実施しています。

また、患者の行動歴を確認したところ、周囲に感染させる可能性のある時期に下記のとおり不特定多数の人が利用する施設を利用していたことが判明しましたのでお知らせします。

なお、この患者は令和6年3月1日に大阪府が発表した事例と同じ2月24日にエティハド航空EY830便に搭乗していました。

名古屋市

麻しん（はしか）患者の発生について

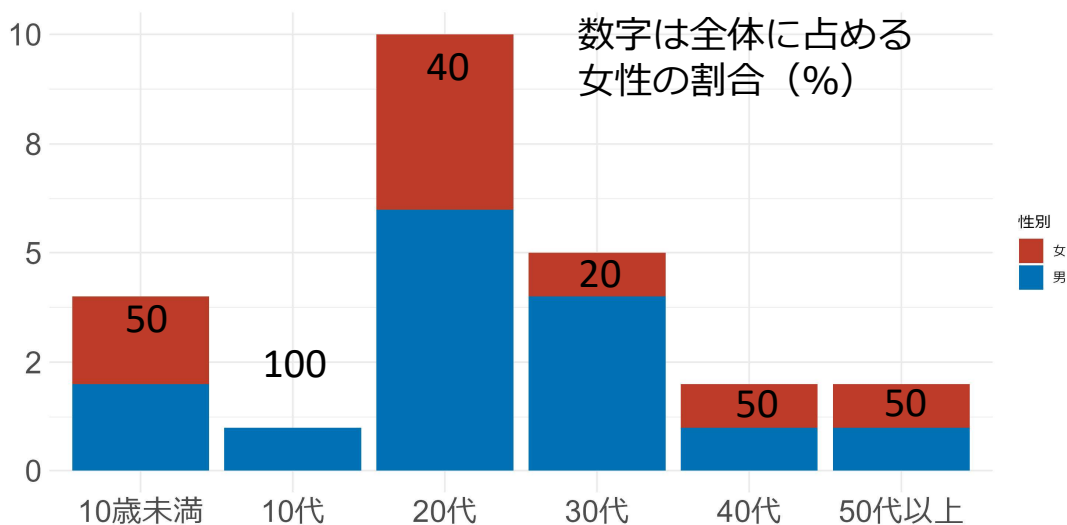
令和6年3月6日（水）、東大阪市保健所から名古屋市保健所に、東大阪市管内で発生した麻しん患者との接触者が名古屋市内にいるため、健康観察等対応するよう依頼がありました。対象者について名古屋市衛生研究所で遺伝子検査を実施したところ、3月7日（木）に麻しん陽性であることが判明しました。

その後、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。

本公表は、当該患者と接触した方が麻しんに感染している可能性があるために、広く情報提供するものです。

麻疹:2024年6月中旬までの国内の麻疹患者の特徴

麻疹症例届出数の診断週別届出推移 (2024年第1週~2024年24週、n=24) 2024年7月01日時点



臨床症状(抜粋)	人数	%
発熱	24	100
発疹	21	88
咳	13	54
鼻汁	13	54
結膜充血	10	42
コプリック斑	5	21
クループ	1	4
腸炎	3	13

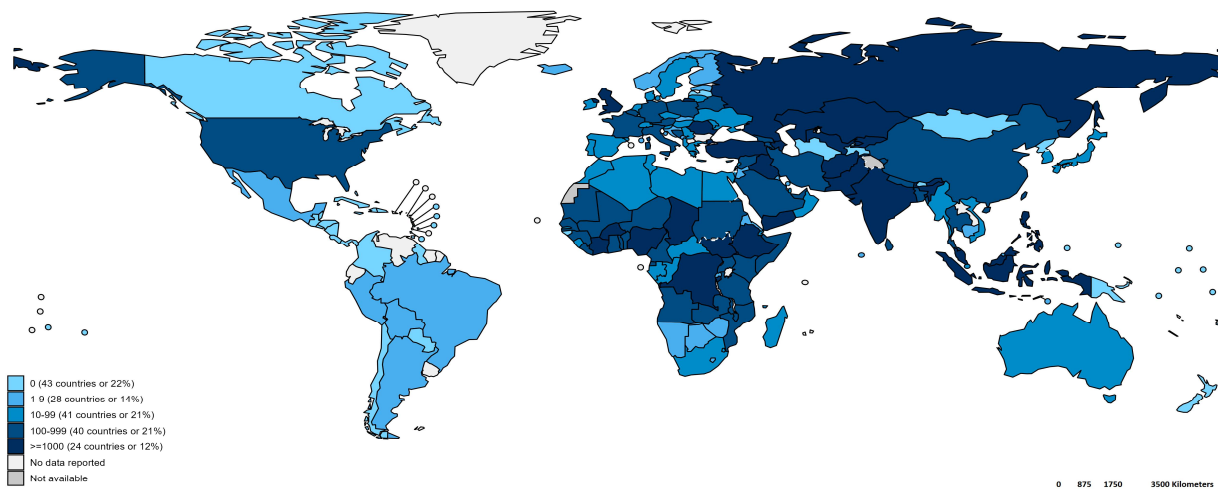
曝露前ワクチン接種状況	人数	%
不明	6	25
なし	9	38
1回*	5	21
2回	4	17

*2回目不明を含む

推定感染地域**	確定 (3)	推定 (14)
国内	1	4
海外	3	11

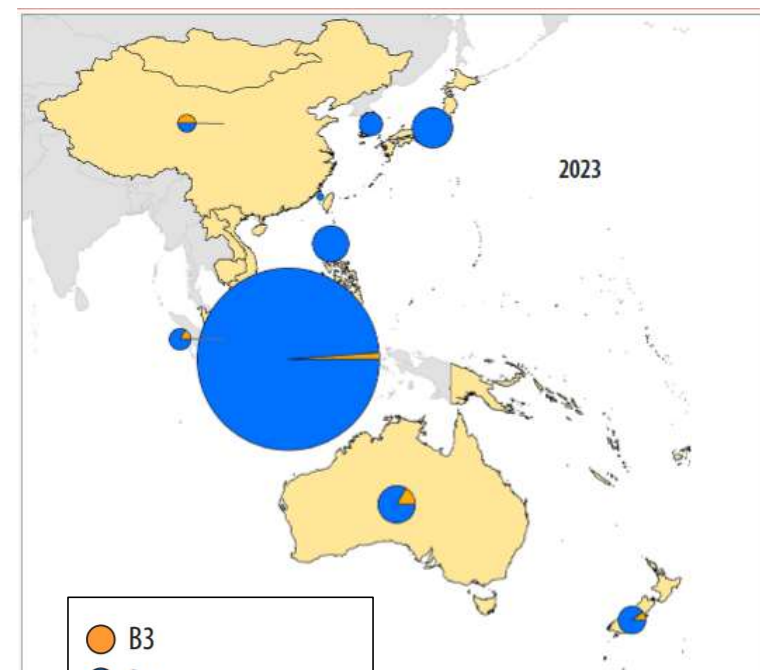
** 不明6を除く、重複あり

(左)世界の麻疹報告の状況：(2023年11月から2024年4月)
 (右)WHO西太平洋地域で報告される麻疹ウイルス検出状況：2024年1月現在



Map production: World Health Organization, 2024. All rights reserved
 Data source: IVB Database

Disclaimer: The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.



- B3
- D8
- H1

*The size of the chart corresponds to the number of genotypes detected



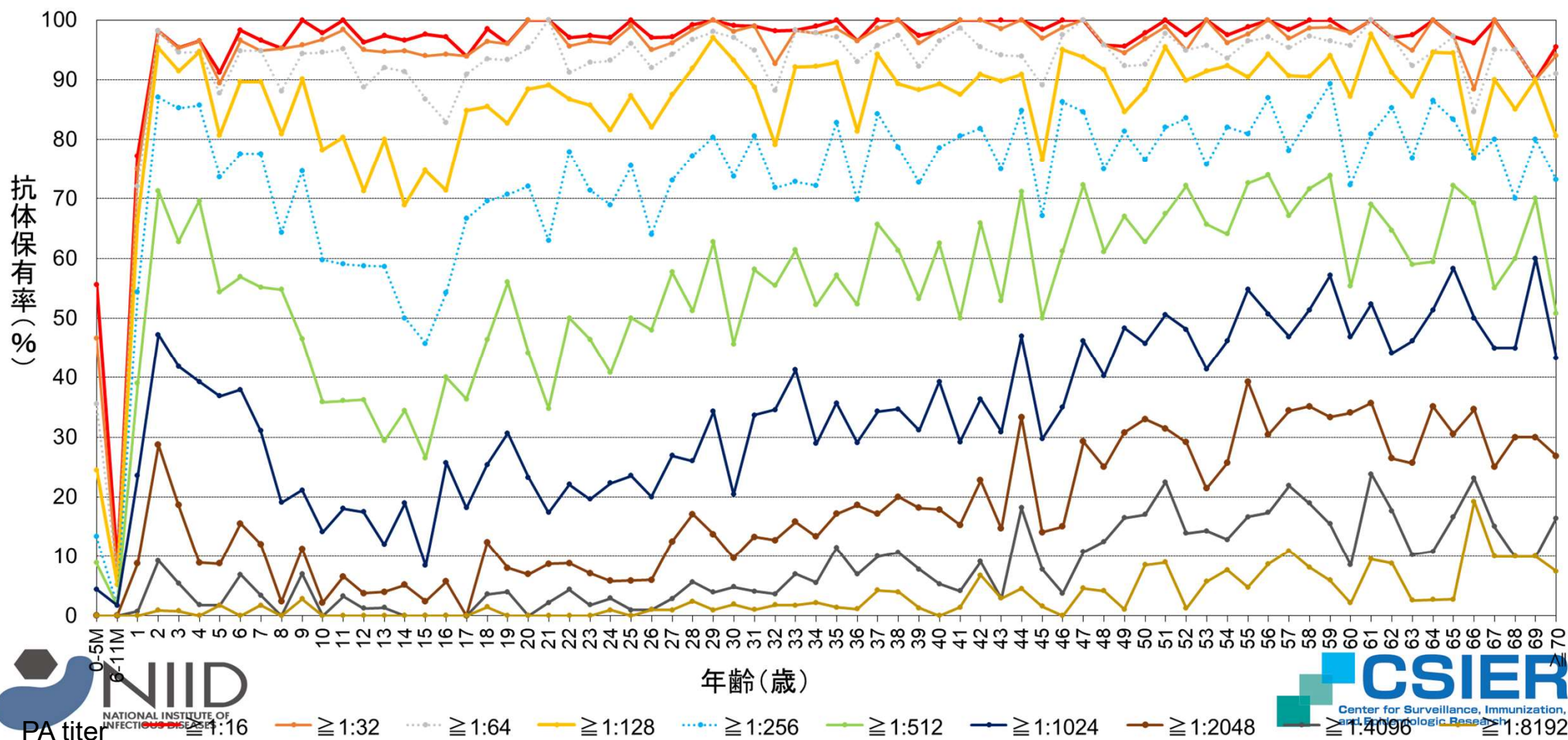
<https://immunizationdata.who.int/global?topic=Provisional-measles-and-rubella-data&location=>



年齢/年齢群別麻疹PA抗体保有状況(n=5,185)

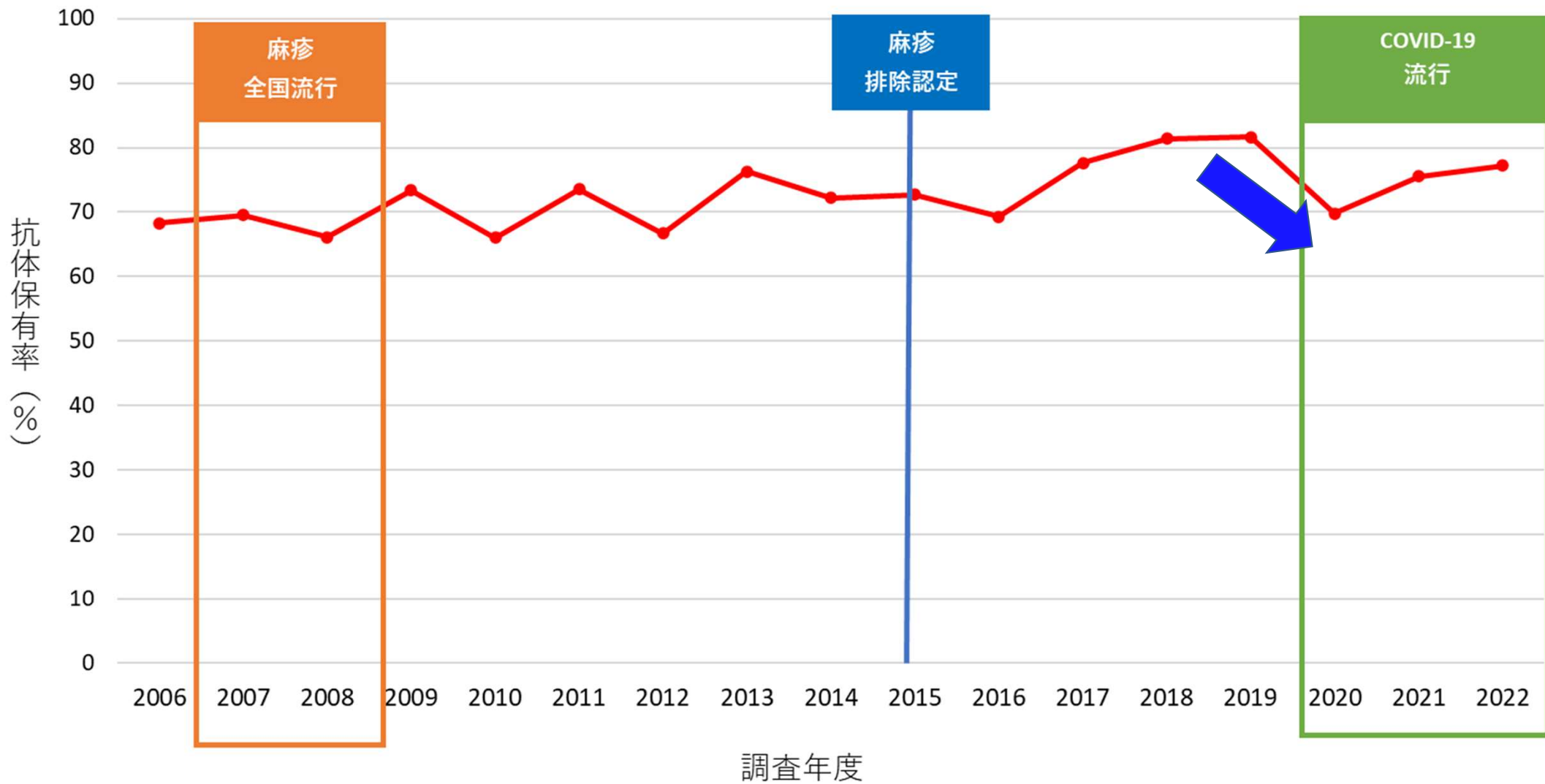
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/667-yosoku-graph.html>

2022年度 感染症流行予測調査事業より



年齢/年齢群別麻疹PA抗体保有状況

2022年度 感染症流行予測調査事業より



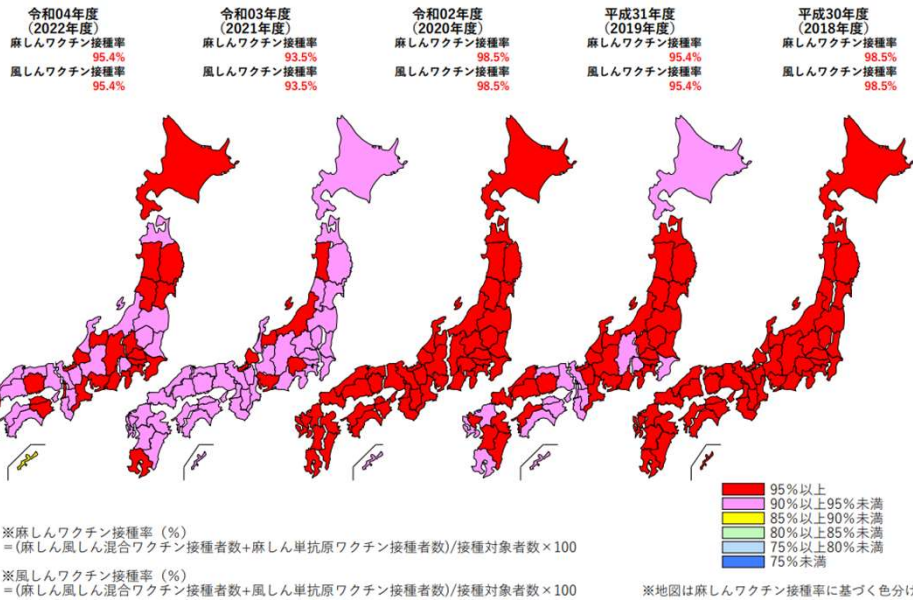
麻疹風しんワクチン接種状況(2018年度～2022年度)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/655-measles/idsc/12349-01-2022.html>

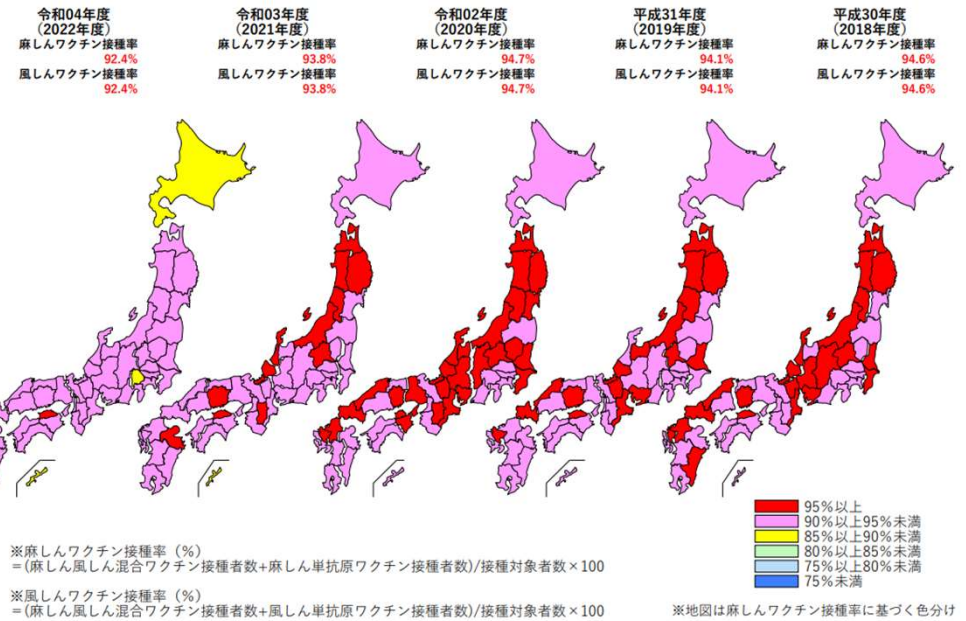
2022年度 第1期 95.4%
(前年度比+1.9%)

2022年度 第2期 92.4%
(前年度比-1.4%)

第1期 麻疹風しんワクチン接種状況

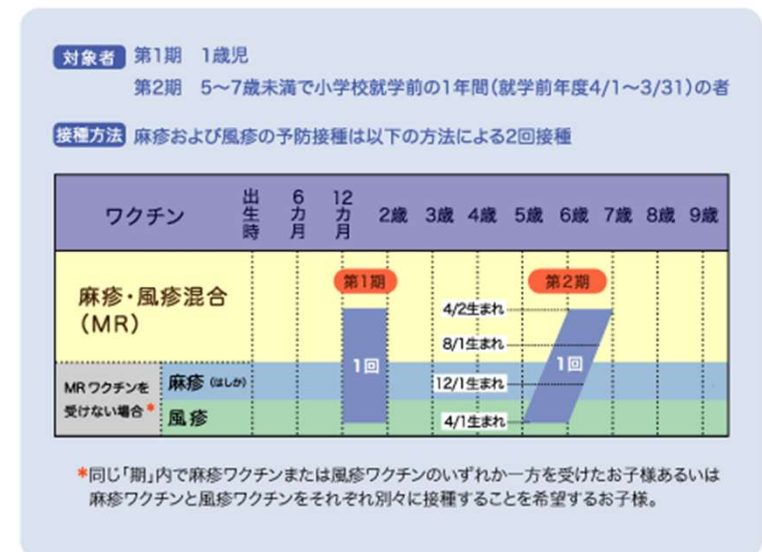


第2期 麻疹風しんワクチン接種状況



COVID-19パンデミック後のワクチンギャップ

- COVID-19パンデミック時に世界の国々では、予防接種を含む通常の公衆衛生サービスに対してCOVID-19対策が相対的に優先された
- 西太平洋地域では2023年に5044例の麻疹が報告（1422例、2022年）
- MRワクチン接種の推進



ランドセルに名前を・・・
母子健康手帳にワクチンを

CSIER 国立感染症研究所 感染症疫学センター
Center for Surveillance, Immunization, and Epidemiologic Research
https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-isc.html



小学校入学準備に 2回目の麻疹・風疹ワクチンを！

2006年4月1日以後、定期予防接種としては麻疹・風疹混合ワクチン(measles-rubellaMRワクチン)の接種が開始となり、同年6月2日から右記の年齢での2回接種となりました。第1期、第2期をすてしまうと

定期の予防接種として受けられなくなってしまうので、小学校の入学前に接種がすすんでいるかどうかを確認しましょう。2018年4月2日～2019年4月1日生まれのお子さまは、2024年度に第2期の定期接種を受けます。

第2期でまだ麻疹と風疹の予防接種をそれぞれ2回ずつ受けていないお子さまはかかりつけ医とよく相談し、ぜひとも2025年3月31日までに受けましょう。接種医療機関に関しては、お住まいの市町村特別区にお尋ねください。

接種期 第1期 1歳児
第2期 5～7歳未満で小学校入学前の1年間(就学前年度4/1～3/31)の間

接種方法 麻疹および風疹の予防接種は以下の方法による2回接種

ワクチン	出生時	6月	12月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
麻疹・風疹混合(MR)				1回					1回		
麻疹ワクチン ※麻疹のみ接種											1回

※同じ「回」内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けたお子様あるいは麻疹ワクチンと風疹ワクチンをそれぞれ別々に接種することを希望するお子様。



**海外では麻疹（はしか）が
流行しています**

海外渡航前に麻疹風疹混合ワクチンを！

予防接種実施機関については、厚生労働省検疫所FORTH (<https://www.forth.go.jp/useful/vaccination02.html>) をご参照ください。

NIID
NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES
国立感染症研究所

CSIER
国立感染症研究所 感染症疫学センター
ER
Center for Surveillance, Immunization, and Epidemiologic Research

風しん

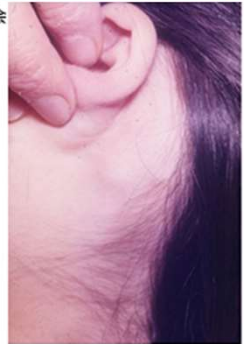
- 風疹ウイルスによる急性発疹性感染症
- 主に飛沫感染で伝播すると考えられ、感染力は強く、基本再生産数は5-7人とされている
- 感染期間は発疹出現の7日前から出現後7日間とされている

風しんの症状

- 潜伏期は14-21日
- 発熱（約半数にみられる）、発疹、リンパ節腫脹などが同時に出現する
- 発疹は全身にみられる丘疹
- 不顕性感染(感染しても症状がみられない) が15-30%にみられる
- 合併症としては血小板減少性紫斑病（3000-5000人に1例）、急性脳炎（4000-6000人に1例）があるが、成人では関節炎を伴うことがある

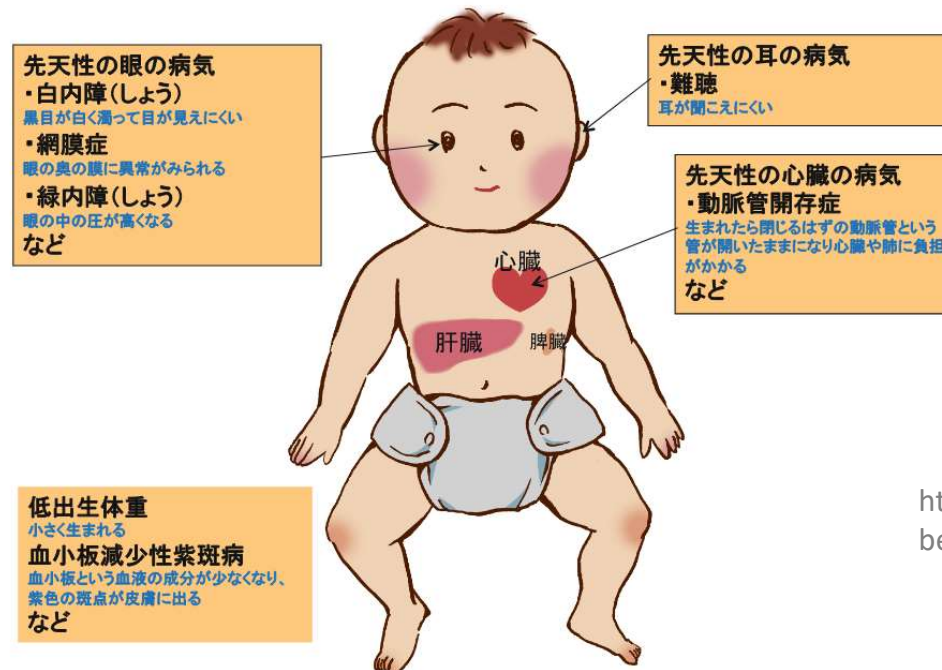


©公益社団法人日本皮膚科学会



先天性風しん症候群(CRS)

- 風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が風疹ウイルスに感染すると、経胎盤的に児に感染させ、眼や心臓、耳などに障害を持つ児が出生することがある
- 妊娠1か月で50%、妊娠2か月で35%



<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/kannrenn/syokuba-taisaku.pdf>

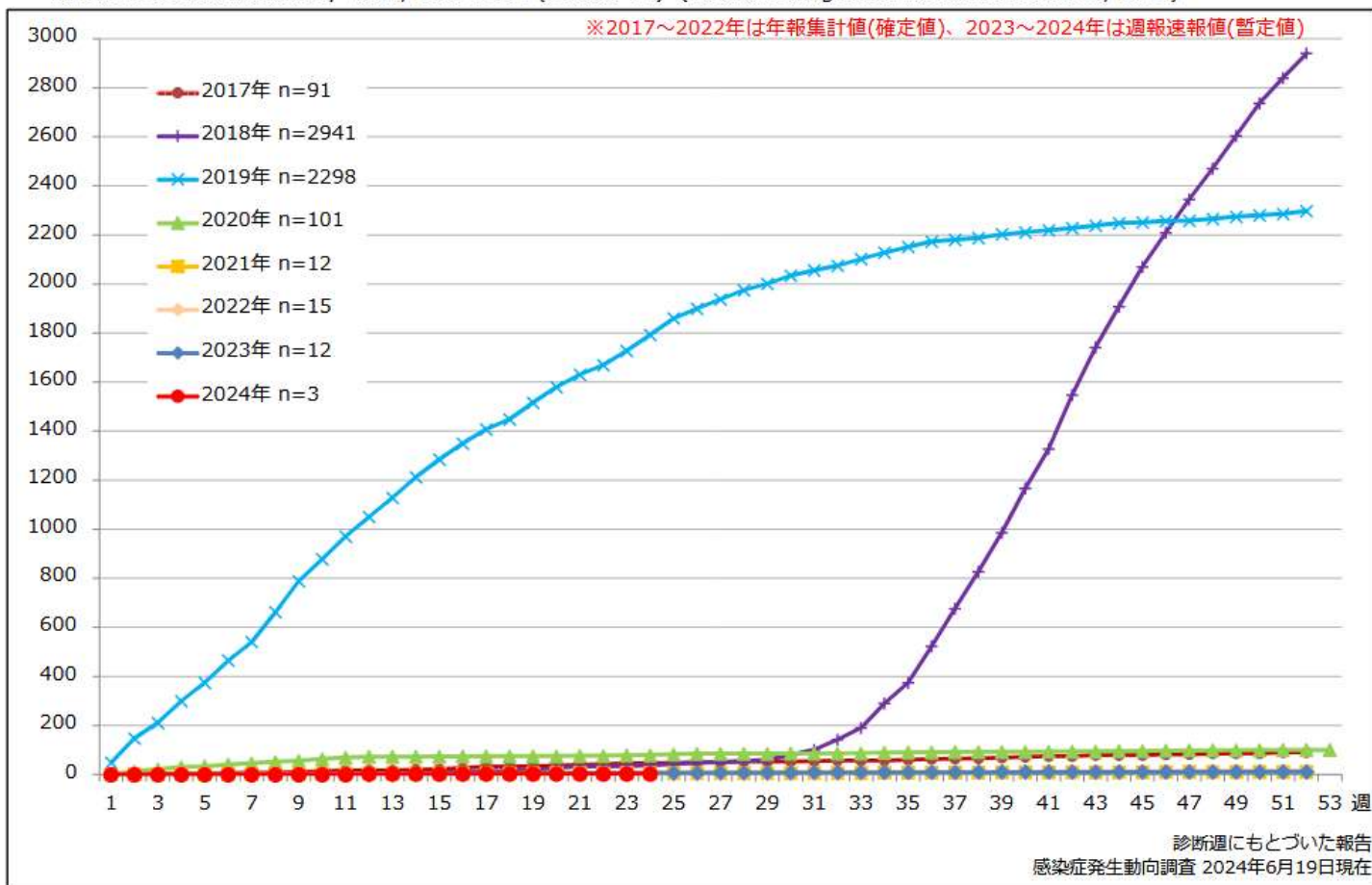
風しんの疫学とサーベイランス

- 日本はまだ風しんが国内から排除されたと認定されていない
 - 西太平洋地域では7カ国が排除認定を受けている
- 感染症法では5類感染症に位置づけられ、**全数がただちに報告される全数把握疾患**である
 - 届出に必要な臨床症状（**全身性の小紅斑や紅色丘疹、発熱、リンパ節腫脹**）
 - 上記3つすべて（臨床診断例）
 - 上記3つのどれか+検査による診断（検査診断例）
- 先天性風しん症候群も5類感染症**全数把握疾患**（7日以内の届出）
 1. 白内障又は先天性緑内障、先天性心疾患、難聴、色素性網膜症
 2. 紫斑、脾腫、小頭症、精神発達遅滞、髄膜脳炎、X線透過性の骨病変、生後2-4時間以内に出現した黄疸
 - 検査診断は必須

風疹累積報告数の推移

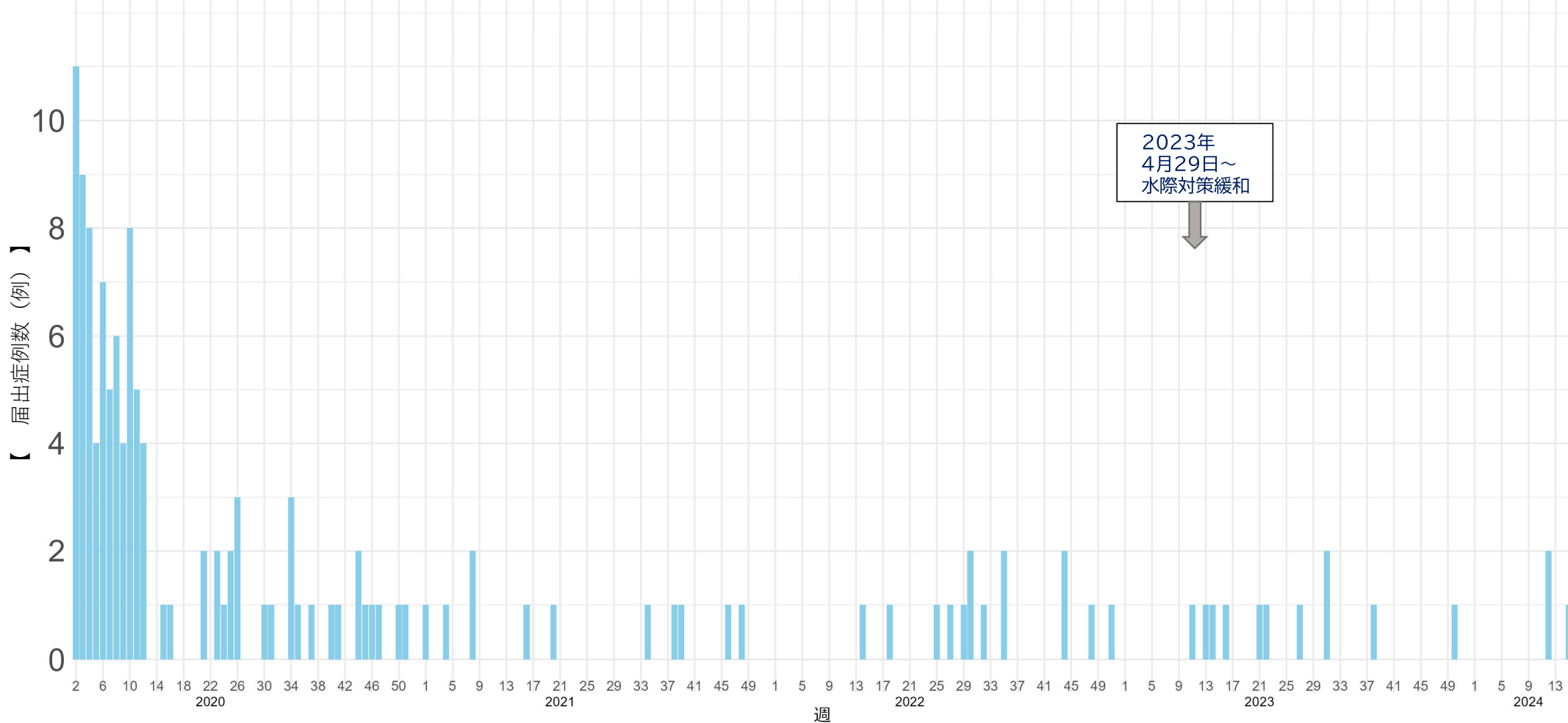
2017～2024年（第1～24週）

Cumulative rubella cases by week, 2017-2024 (week 1-24) (based on diagnosed week as of June 19, 2024)



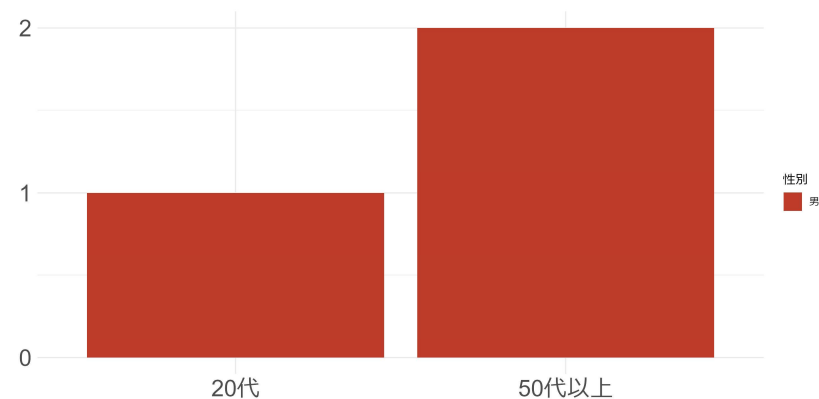
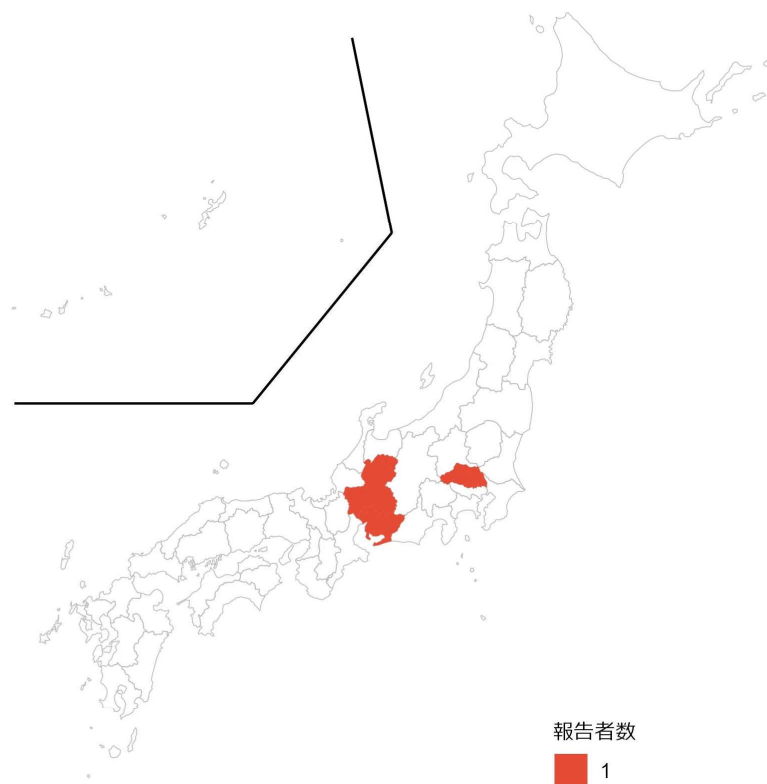
風疹:2024年6月中旬までの国内の麻疹患者の特徴

風疹症例届出数の診断週別届出推移 (2020年第1週~2024年24週、n=138) 2024年7月01日時点



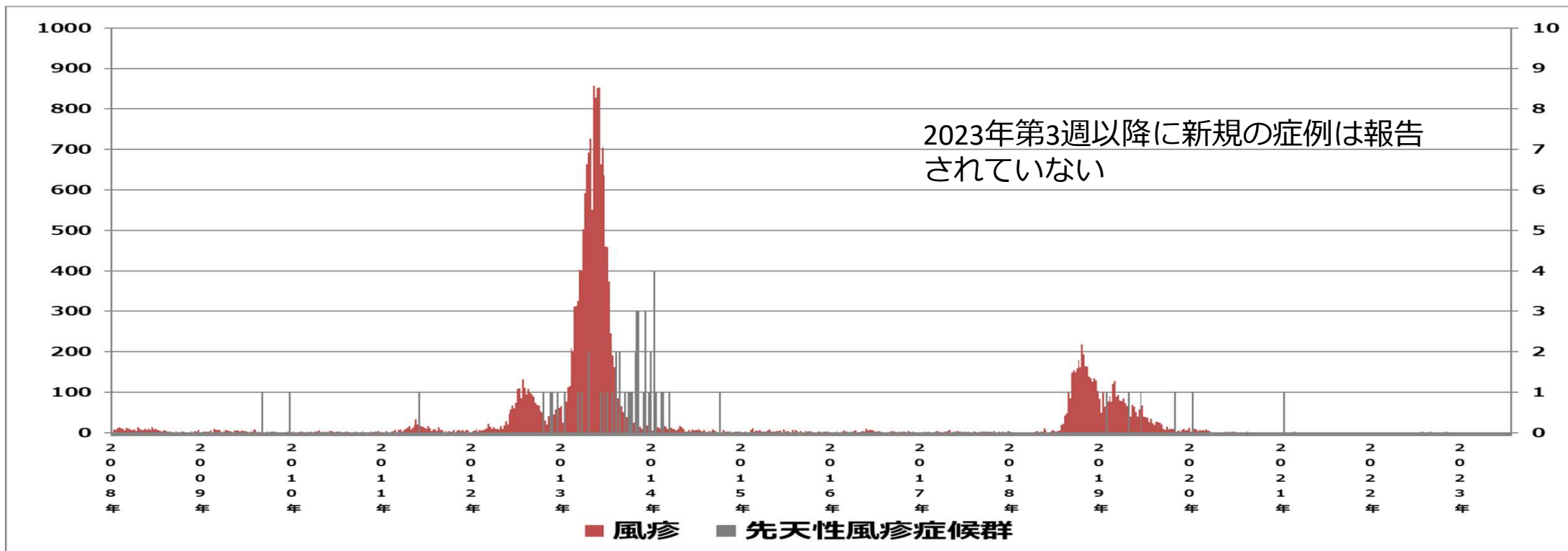
風疹:2024年6月中旬までの国内の麻疹患者の特徴

風疹症例届出数の診断週別届出推移 (2024年第1週~2024年24週、n=3) 2024年7月01日時点

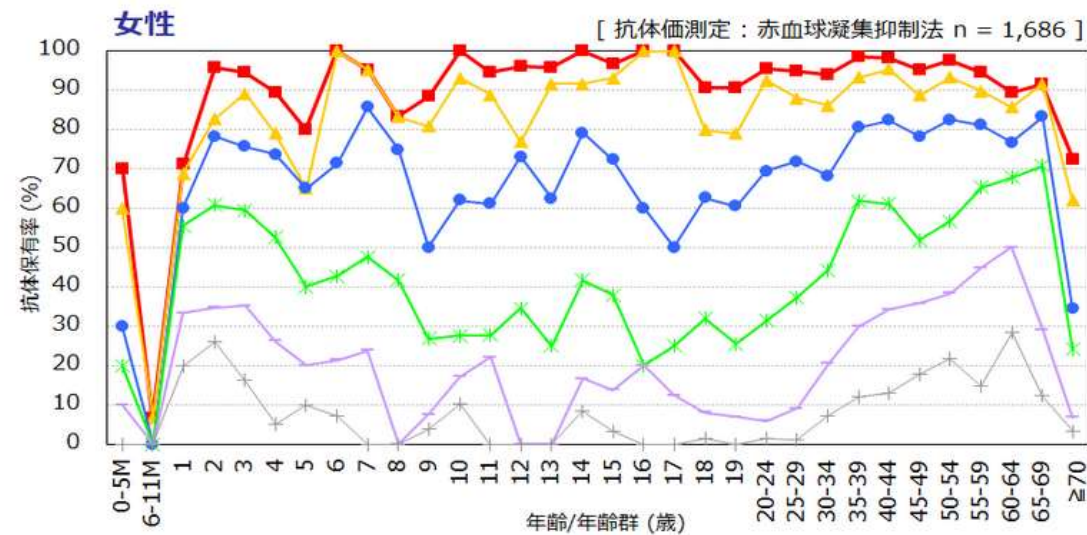
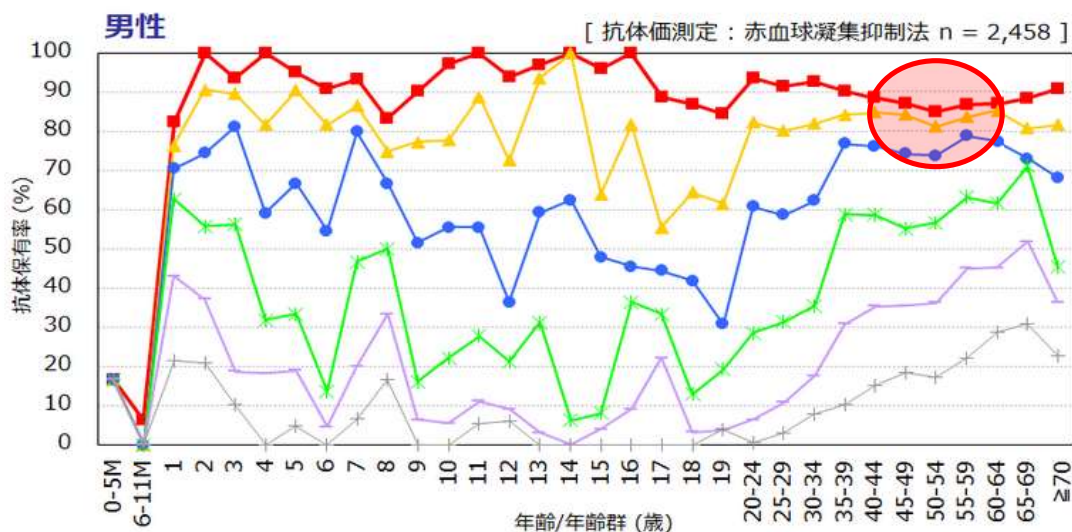


ワクチン歴：不明2名、1回1名
感染地域：国内(推定) 1名、国内(確定) 1名

週ごとの風疹・先天性風疹症候群報告数 (2008年第1週～2023年第29週)



年齢/年齢群別の風疹抗体価保有状況、2022年



※0-5か月, 17歳は10名未満の結果

※16歳, 17歳は10名未満の結果

抗体価 ■ $\geq 1:8$ ▲ $\geq 1:16$ ● $\geq 1:32$ ✱ $\geq 1:64$ + $\geq 1:128$ + $\geq 1:256$ **流行予測2022**

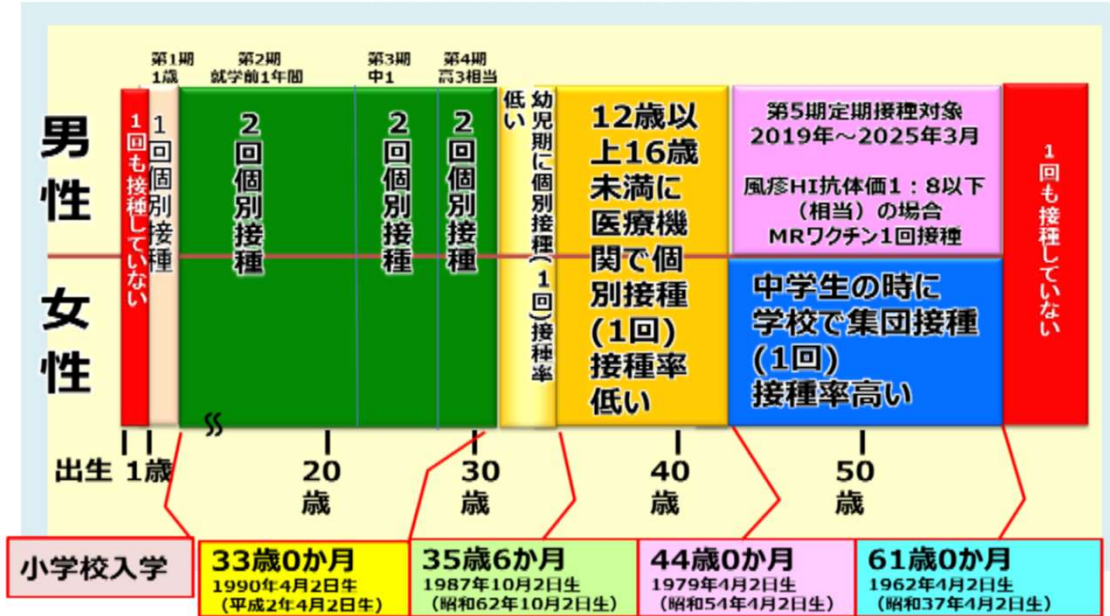
【2022年度風疹感受性調査実施都道府県】

北海道, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 石川県, 長野県, 愛知県, 三重県, 滋賀県, 山口県, 高知県, 福岡県

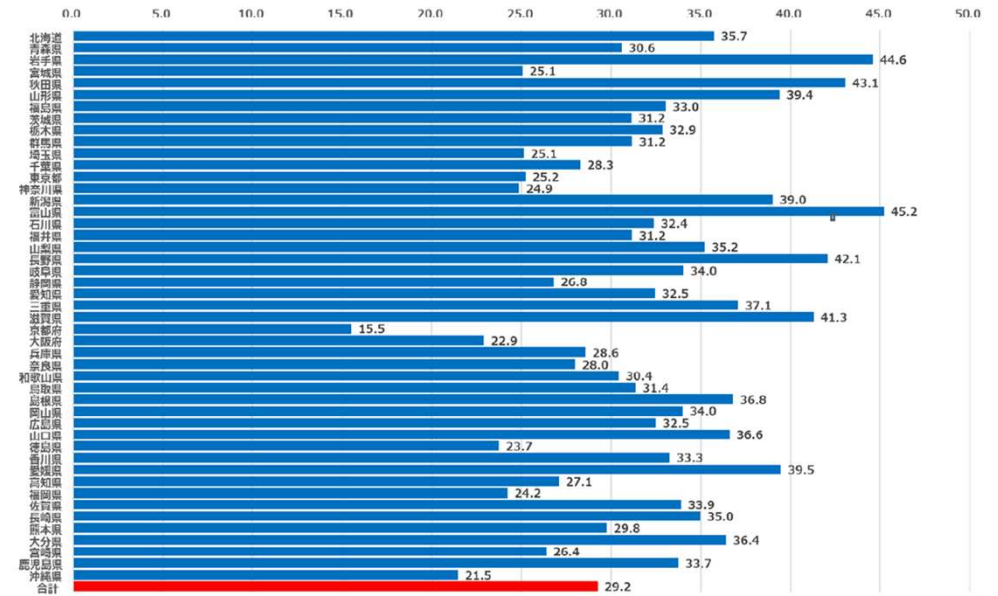
風疹第5期定期接種の状況

対象者：昭和37（1962）年4月2日～昭和54（1979）年4月1日生まれの男性
 期間：2025年3月まで継続

風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係
 （令和5（2023）年4月1日時点）



各都道府県別のクーポン券を使用した抗体検査実施者*割合
 （厚生労働省健康局結核感染症課調査）



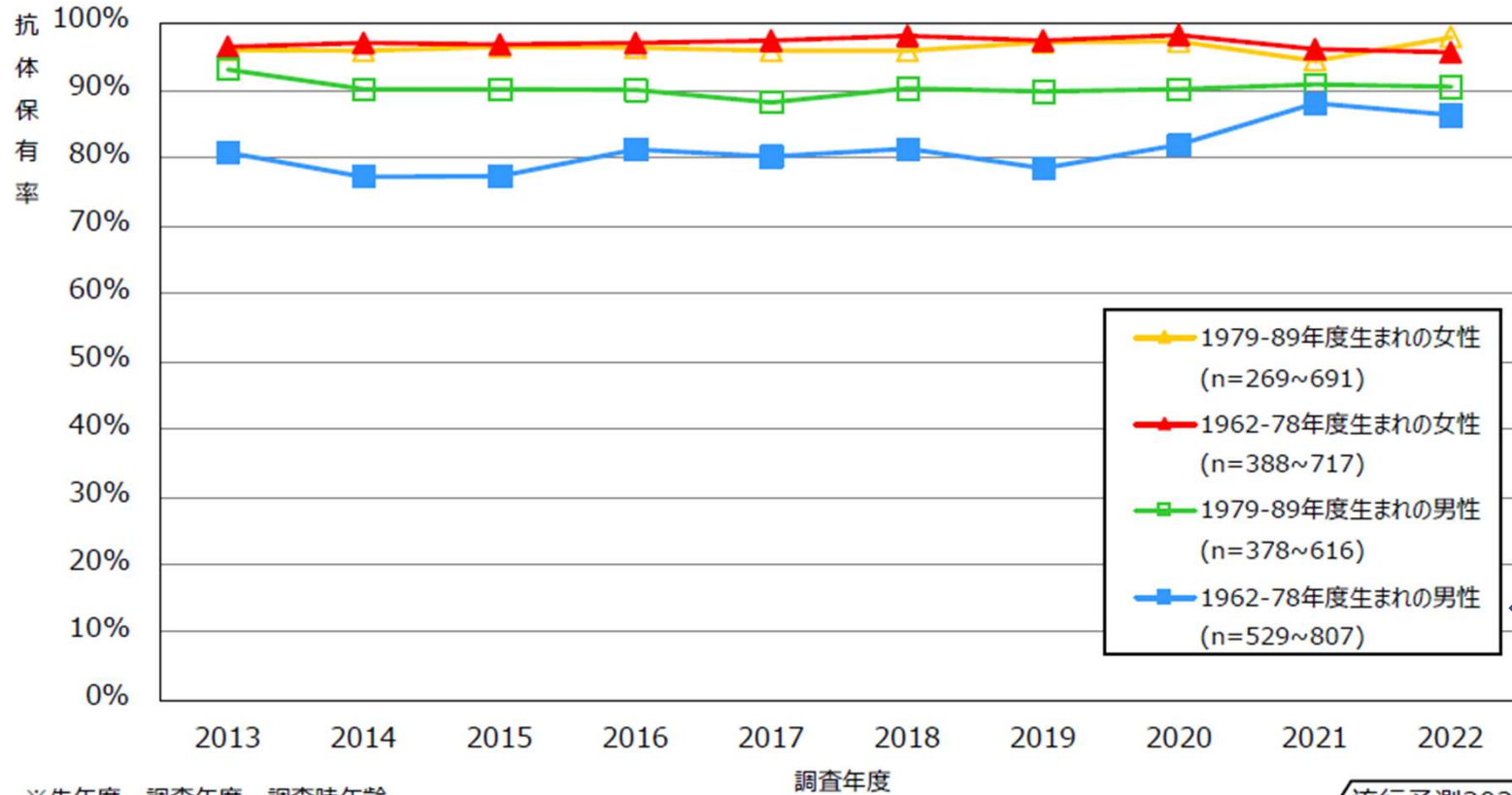
*自治体枠 66,307人分は含まず

2023年4月までに抗体検査を受けた人が対象男性人口の29.7%、予防接種を受けた人は対象男性人口の6.4%



生年度別風疹HI抗体保有状況(抗体価1:8以上)の年度推移

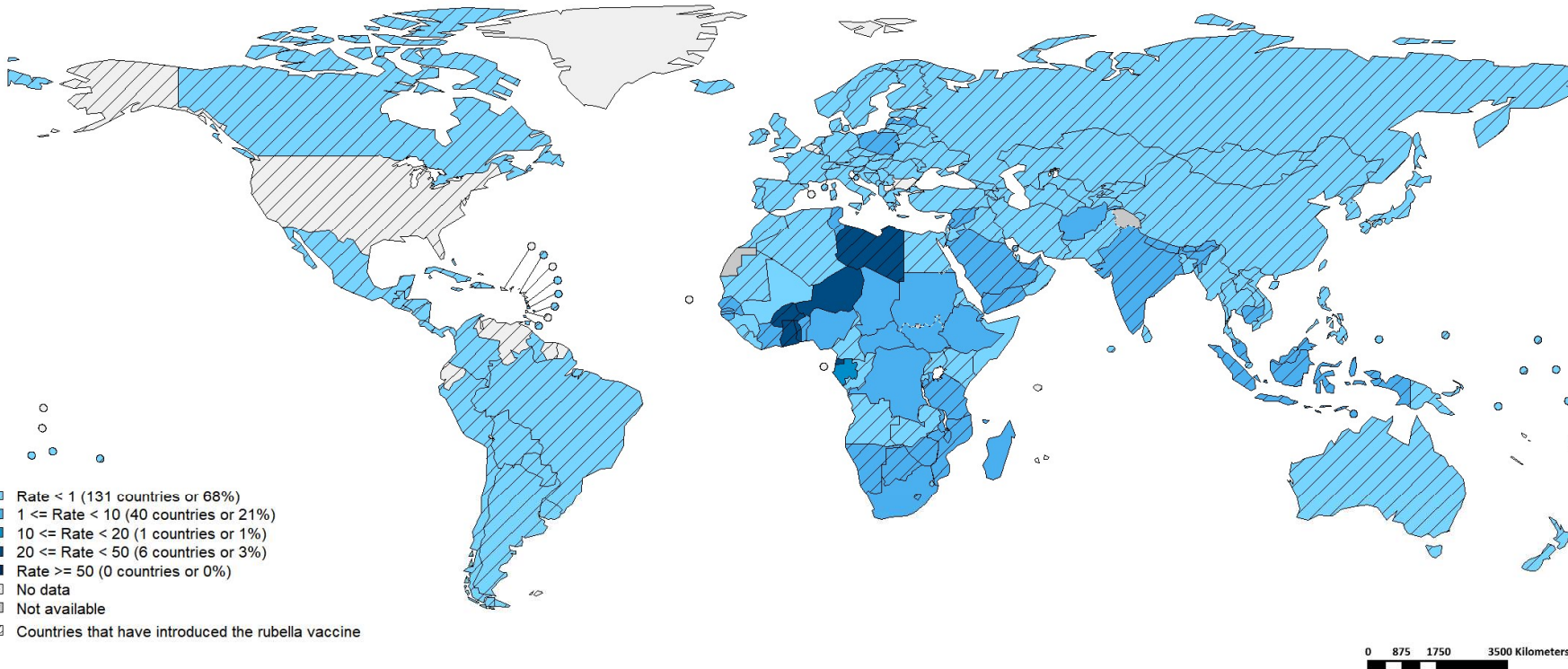
— 2013～2022年度感染症流行予測調査 —



昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性 (風疹抗体陽性率)



Rubella Incidence Rate per Million (12M period)



Highest incidence rates

Country	Cases	Rate
Eq. Guinea	73	42.57
Togo	232	25.62
Burkina Faso	558	24.00
Ghana	720	21.10
Niger	562	20.66
Libya	140	20.32
Gabon	38	15.60
South Africa	555	9.19
Madagascar	260	8.57
Zimbabwe	118	7.08



Map production: World Health Organization, WHO, 2024. All rights reserved
Data source: IVB Database

Disclaimer:

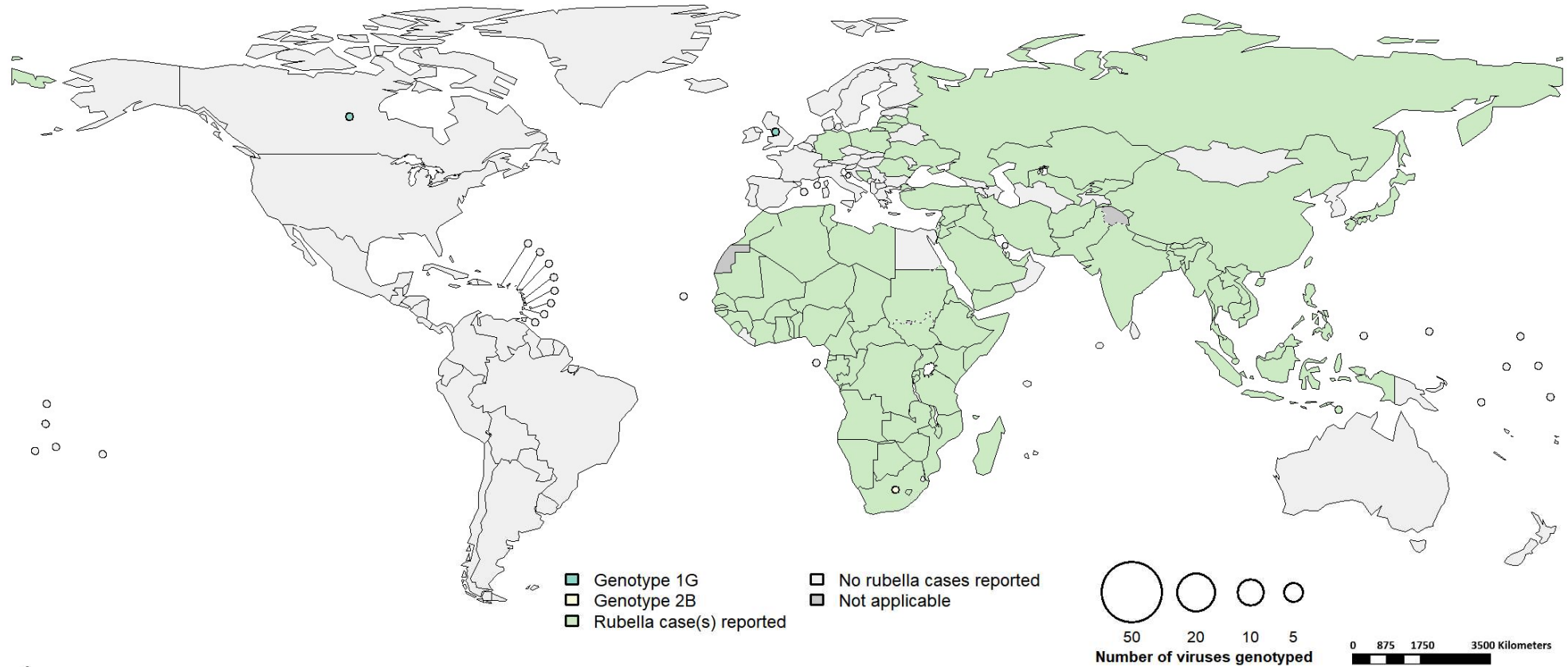
The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.



Note: Based on data received 2024-06 - Surveillance data from 2023-11 to 2024-04 - Incidence: Number of cases / population * 1,000,000 - Population data: World population prospects, 2019 revision



Distribution of rubella genotypes (last 12 months)



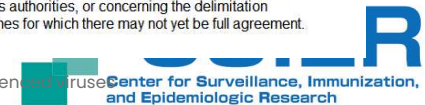
Map production: World Health Organization, WHO, 2024. All rights reserved
Data source: IVB & RubeNS Databases

Disclaimer:

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.



Data source: RubeNS Database (Genotypes) and IVB Database (Incidence) as of 2024-06-10 and covering the period between 2023-05 and 2024-04 - Pie charts proportional to the number of sequenced viruses



昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性の皆様
風しんの抗体検査を受けましょう。抗体価が低かった場合は、

麻しん風しん混合ワクチンを受けましょう！

新型コロナウイルスは心配だけど、風疹も心配……
予防しておかなくては……

HI法で1:8以下なら定期接種で麻しん風しん混合ワクチンを受けられます。
HI法以外で検査した場合は、
URL: https://www.niid.go.jp/niid/images/ldsc/disease/rubella/Rubella-HIiter8_Ver4.pdf
を参照してください。

CSIER
Center for Surveillance, Immunization, and Epidemiologic Research

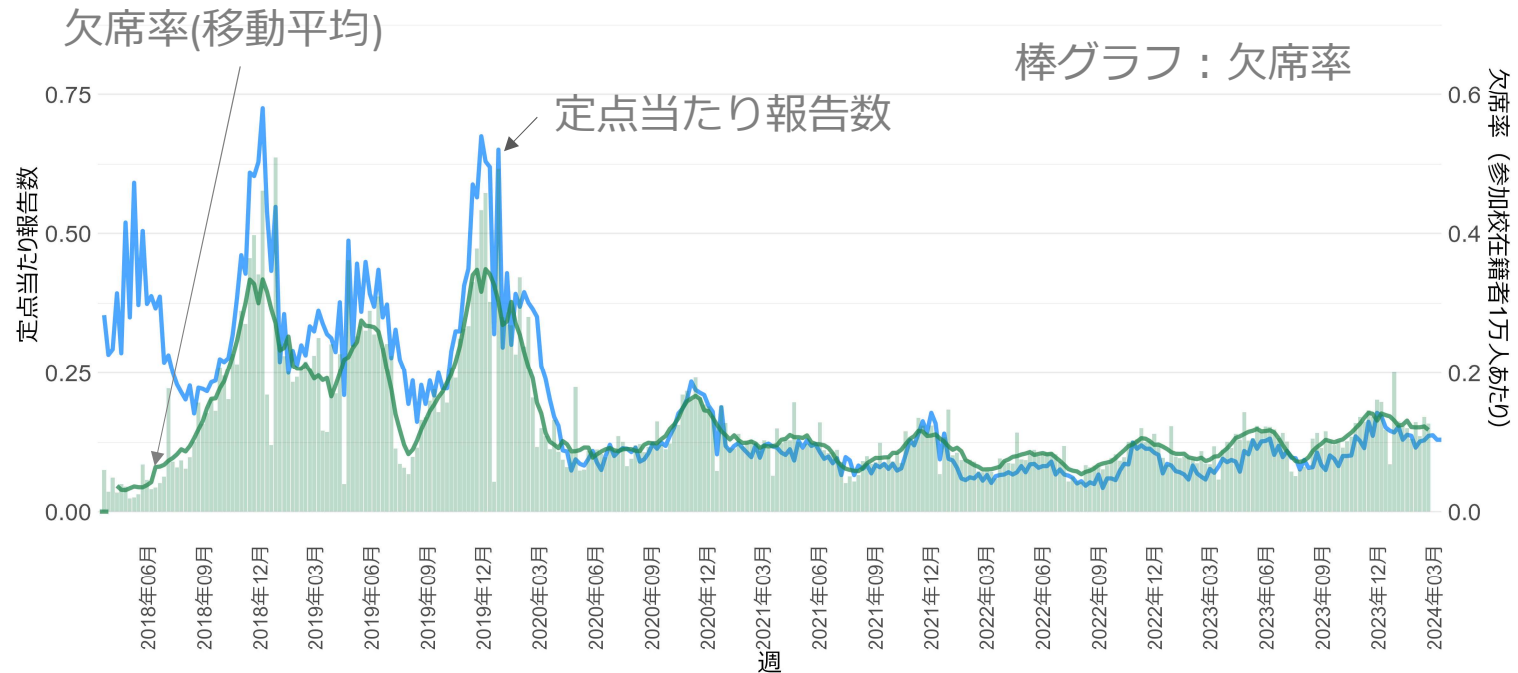
風しんの予防接種に関するポスターは以下のリンクからダウンロード出来ます



参考:水痘について

- 水痘は水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）の初感染の病態
- 感染症発生動向調査として、1) 小児科定点からの届出および2) 水痘入院例の全数報告により動向が把握されている
 - 2019年および2023年の定点当たり累積届出数はそれぞれ56,799例^(確定値)と16,247例^(速報値)
 - 2019年および2023年の入院届出数はそれぞれ492例^(確定値)と400例^(速報値)
- 2014年10月より定期接種が開始（A類疾病）：生後12か月から36か月に至るまでの児に2回接種
 - 水痘ワクチンは弱毒生ワクチン

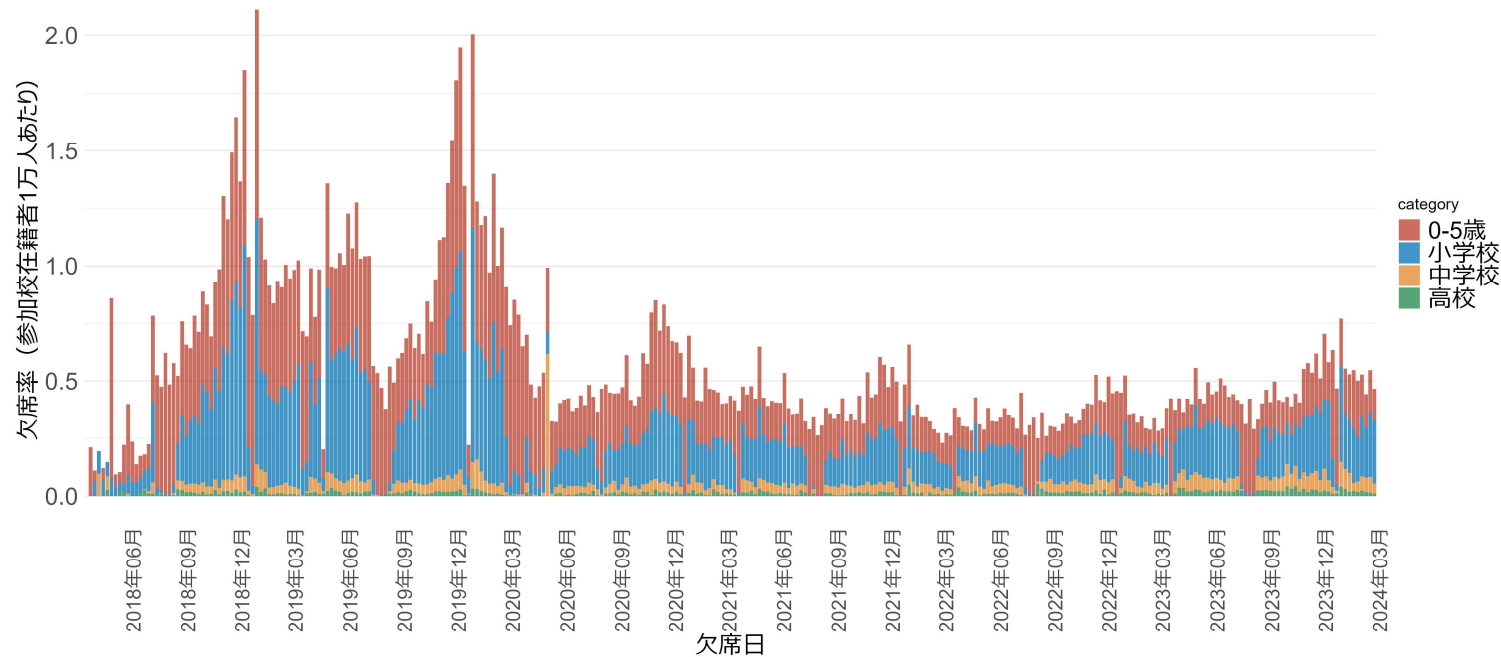
結果:感染症サーベイランスと学校欠席者データ



- 2018年4-6月では定点当たり報告数と児童1万人あたり欠席者数の乖離*があったが、それ以降は同じ動向であった

*登録施設数の少なさを反映していると考えられる

結果:施設4群別の参加校児童1万人あたり学校欠席率(積み上げ)



- 最も多いのは小学生であり、次いで0-5歳、中学生である。夏期休業などの時期には報告されなくなる

ご清聴ありがとうございました